

内部被曝

甲
第
2
号
刷

肥田舜太郎
Syuntaro Hida

じわじわと命を蝕む
低線量被曝の恐怖



肥田舜太郎

広島で被爆して以来、
6000人の被爆者を
診てきた95歳の
医師が警告

扶桑社新書 116 定価：本体724円＋税

肥田舜太郎 (ひだ しゅんたろう)

1917年広島生まれ。医師。広島市への原爆投下により自身が被ばく、その後被ばく者の救援・治療にあたる。6000人以上の臨床体験をふまえて「原爆ぶらぶら病」と呼ばれる症状や、低線量・内部被曝の影響に関する研究にも携わった。著書に『ヒロシマを生きのびて』（あけび書房）、共著書に『内部被曝の脅威』（ちくま新書）など。

扶桑社新書 116

内部被曝

2012年3月19日初版第一刷発行
2012年5月20日 第二刷発行

著 者……肥田舜太郎

発 行 者……久保田榮一

発 行 所……株式会社 扶桑社

〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
電話 03-5403-8870(編集)
03-5403-8859(販売)
<http://www.fusosha.co.jp/>

DTP制作……株式会社 Office SASAI

印刷・製本……株式会社 廣濟堂

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁の場合はお取り替えいたします。購入された書店名を明記して小社販売部宛にお送りください。送料小社負担でお取り替えいたします。なお、本書の一部あるいは全部を無断で複写複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

©Shuntaro Hida 2012 Printed in Japan ISBN 978-4-594-06577-5

扶桑社新書／ラインナップ

原発のウソ……………小出裕章

丸腰国家……………足立方也

地球温暖化／人類滅亡の

シナリオは回避できるか……………田中 優

内部被曝